

お知らせ

レベル4で危険な場所から全員避難
防災気象情報が変わります

気象庁ホームページ



変更の背景と目的

これまでの気象警報・注意報は、自治体が発表する避難情報との関係がわかりにくいという声がありました。そこで、令和8年5月下旬から、気象警報・注意報に「警戒レベル」の数字を付けて発表するよう改められます。

いつ逃げる？
レベルで判断

防災気象情報で迷わず避難判断を

警戒レベル	市町村		気象台				皆さんがとるべき行動
	避難情報等		河川氾濫 (1級河川などの大河川の氾濫)	大雨 (低地の浸水や大河川以外の氾濫)	土砂災害 (急傾斜地のがけ崩れや土石流)	高潮 (海水面上昇や波の打上げによる浸水)	
5	緊急安全確保	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難>							
4	避難指示	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備
2	気象台が発表する情報→		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど)
1	気象台が発表する情報→		早期注意情報				災害への心構えを 高める

01

警報・注意報の表示名に『レベル』を付記

避難行動と直結する『レベル』がすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。

変更例

大雨警報→

レベル3大雨警報

02

『警戒レベル4』相当の情報は『危険警報』として発表

危険な場所から避難が必要な状況である『レベル4相当』の情報が『危険警報』として発表されます。

変更例

土砂災害警報情報→

レベル4土砂災害危険警報

03

河川の氾濫の危険度の伝え方を変更

従来の『洪水警報』『洪水注意報』は廃止され、今後は河川の区分に応じて伝え方が変わります。

変更例 (北斗市の場合)

洪水警報→

レベル3大雨警報